

令和4年度 私立幼稚園教員研修

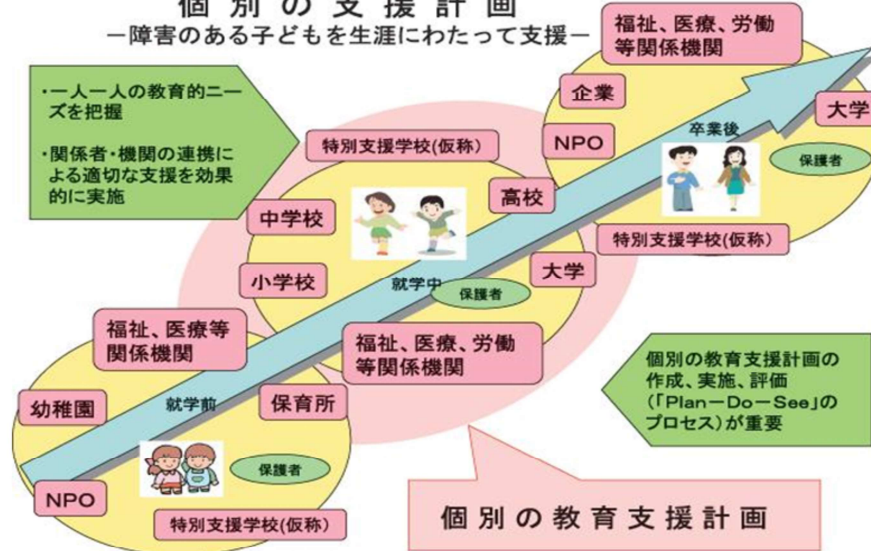
「個別の教育支援計画」
「個別の指導計画」について

大阪府教育庁教育振興室
支援教育課生徒支援グループ

1

「個別の教育支援計画」

個別の支援計画
—障害のある子どもを生涯にわたって支援—



出典 独立行政法人国立特殊教育総合研究所『「個別の教育支援計画」の策定に関する実際研究』17頁（平成18年）

【説明要旨】

・「個別の教育支援計画」は、障がいのある幼児児童生徒の一人ひとりの教育的ニーズを把握し、適切に対応していくという考えのもと、長期的な視点で乳幼児期から学校卒業後までを通じて一貫して、的確な教育的支援を行うことを目的としている。

・幼稚園では、個別の教育支援計画の長期目標を、小学校へ進学する前まで(園を卒業するまで)として設定する場合が多い。

・そのうえで、各学年における目標を設定し、子どもの変容のために必要な支援と、具体的な指導方法を検討する。

・目標に対する評価はもとより、教員が行う支援や指導の有効性についても評価することが大切である。(=計画への評価)

・これらにより、子ども一人ひとりの成長に向けた指導・支援のPDCAサイクルを確保する。

・このPDCAサイクルが途切れないよう、作成した個別の教育支援計画を、必ず小学校や支援学校小学部に引継ぐことが重要。

「個別の教育支援計画」

- ・ 基本情報（名前、生年月日、住所、健康上の配慮点、コミュニケーション、得意なこと、苦手なこと等）
- ・ 本人の願い、保護者の願い
- ・ 長期の目標と評価及び引き継ぎ事項
- ・ 支援の内容
- ・ 関係機関との連携とその記録
（教育機関、医療機関、療育機関、福祉機関等）

3

【説明要旨】

・「個別の教育支援計画」の基本情報には、名前、生年月日、住所、健康上の配慮点、コミュニケーション、得意なこと、苦手なこと等の項目を記入。

・「個別の教育支援計画」は、今後の園での生活や家庭生活、社会生活等における本人及び保護者の願いを踏まえて、作成するものであることから、作成にあたっては、保護者からしっかりと情報を得ることが大切。（保護者の参画）※幼稚園教育要領解説 P119

・また、教育関係者のみならず、家庭や医療、福祉等の関係機関と連携するため、それぞれの側面から取組みを示し、関係機関の役割を明確にすることが大切。

・支援内容には、長期目標を達成していくために考えられる支援内容や、合理的配慮の内容、その理由等について明記する。

・指導と支援の評価の後、うまくいった支援だけでなく、うまくいかなかった支援についても効果を検証し、支援方法の妥当性についても記入する。この「計画に対する評価」を次のステージに引き継ぐことが重要。

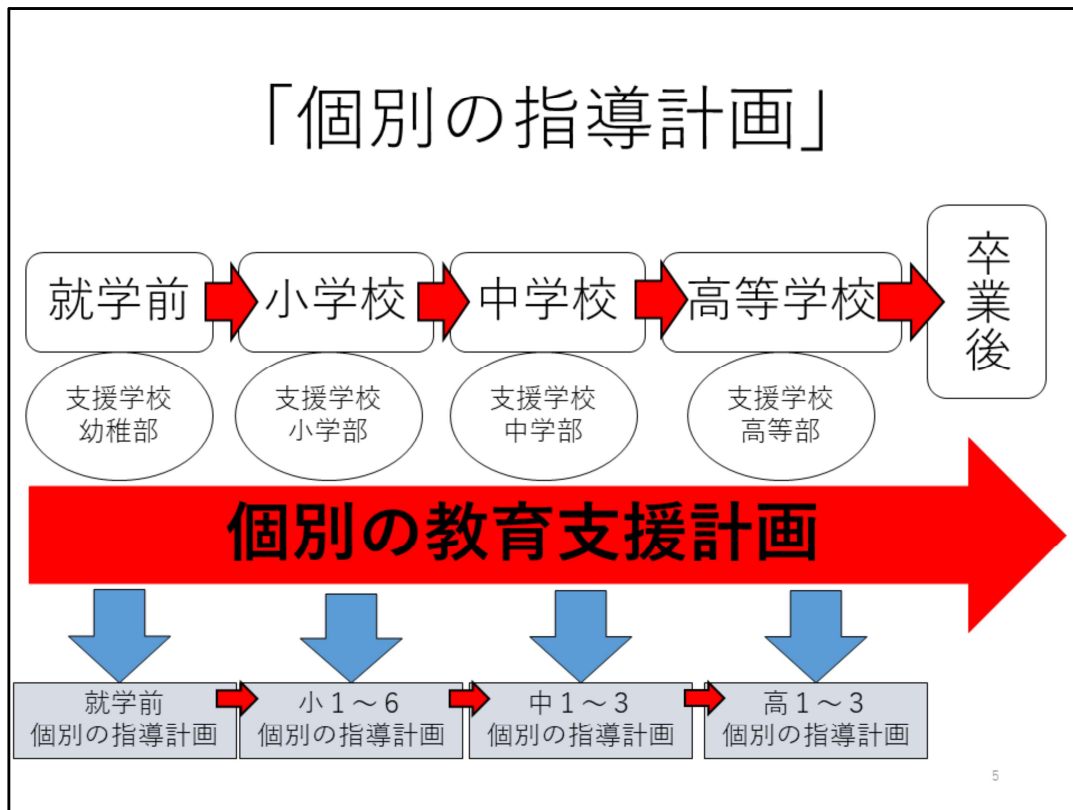
実態把握の重要性

- 行動観察、情報収集など、いくつかの方法で、多方面（園、家庭、医学等）からできるだけ多くの情報を収集する。
- 「苦手」や「行動上の問題」だけでなく、「良さ」や「できること」、「強み」、「好きなこと」など肯定的な部分も把握する。

4

【説明要旨】

- ・子どもの実態把握は、支援の方向性を検討するうえで、特に重要。
- ・行動観察では、どのような場面や活動で、気になる行動が生じるのか、その行動の背景について把握することが重要。
- ・様々な場面や視点（園、家庭、医学等）から、できるだけ多くの情報を収集すること。
- ・「苦手」や「行動上の問題」だけではなく、子どもたち一人ひとりの「良さ」、「できること」、「強み」、「好きなこと」など肯定的な部分に注目して、その子どもの特性を知ることにより、支援や指導の方向性がみえてくる。



【説明要旨】

- ・個別の指導計画と個別の教育支援計画の関係性を表したイメージ図。
- ・各ステージ(就学前・小学校・中学校・高等学校)で、「個別の教育支援計画」をもとに「個別の指導計画」を作成。
- ・「個別の指導計画」は、学年ごとに作成し、おおむね1年間で達成可能な長期目標と、学期ごとの短期目標について設定を行い、指導・支援の計画を立てる。
- ・これらの計画の作成・活用に教職員全体で取り組むことで、保護者・関係機関等との具体的な連携が進み、教職員の協力体制の構築等につながる。

「個別の指導計画」

- ・ 何に重点を置いて指導するか
「個別の教育支援計画」を踏まえ、優先すべき課題を設定する。
- ・ 目標に対する指導のてだて、指導方法
- ・ 評価
子どもへの評価と、指導のてだてに対する評価

6

【説明要旨】

・「個別の指導計画」は、子ども一人ひとりの障がいの状況等に応じたきめ細かな指導・支援を行うため、子ども一人ひとりの教育的ニーズや優先課題を踏まえて、指導目標や指導内容・方法などを盛り込んだものであり、それらの内容について、具体的に示す必要がある。

・評価にあたっては、子どもの評価だけでなく、教員の指導や支援の有効性についても評価の対象となる。

達成可能な「目標設定」

- ・スモールステップを心がける。
- ・子どもが主体の目標、肯定的な表現にする。
- ・教材、支援ツール、場面、環境調整等、てだては具体的に記述する。
- ・担当者間で目標達成の具体的な姿を共通認識する。
- ・指導内容、経過等を保護者と共有する。

7

【説明要旨】

・「目標設定」は、達成可能なものになっているかどうかという視点が大切。

〈ポイント〉

- ・スモールステップを心がける。
- ・子どもが主体の目標、肯定的な表現にする。
- ・てだては、教材、支援ツール、場面、環境調整等、具体的に記述する。
- ・担当者間で目標達成の具体的な姿を共通認識する。
- ・指導内容、経過等を保護者と共有する。
- ・特に、保護者とは、日頃から連携を密にし、指導や支援の内容、指導経過を共有することが大切。

評価の重要性

- 目標に対する子どもの到達度評価と、指導のてだて・支援の方法が適切であったかという評価が必要。
 - ⇒ 後者は、より子どもの実態に即した指導のてだて・支援の方法を確立していくうえで、重要な評価といえる。
- 子どもに関わる複数の先生によって評価を行う。評価会議を行うことで、子どもへの理解が深まるとともに、支援の方法の共有にもつながる。

8

【説明要旨】

- ・「評価」は、目標に対する子どもの到達度評価と、教員の指導のてだて・支援の方法が適切であったかという、二つの側面から行うことが必要。
- ・後者は、子どもの実態に即した指導のてだて・支援の方法を確立していくうえで、重要な評価。
- ・また、子どもに関わる複数の教員によって多角的・多面的に評価を行うことが大切。
- ・評価会議を行うことで、子どもに対する理解が深まるとともに、支援の方法の共有にもつながる。

個別の支援のその前に…

～環境調整の重要性～

- 授業のユニバーサルデザイン化
- 支援の必要性の有無に関係なく、全ての子どもが「分かる」「できる」ための工夫
 - ① ことばかけはシンプルに
 - ② 一日のスケジュールや作業の手順は、絵や図、文字で順を追って示す
 - ③ 絵や色、記号を使って、その場所では何をすればいいのかが、わかるように
- 個に応じた支援、時には集団から離れてクールダウン等

9

【説明要旨】

・当該幼児へのアプローチだけでなく、教室を、誰にとっても学習に集中できる環境とすること、いわゆる「授業のユニバーサルデザイン化」が大切。物的な調整に加えて、子どもへのことばかけ一つを工夫することも環境調整となる。

・誰もが安心して学び、育つことができる教育環境の構築に向けては、子どもたちを取り巻く環境の調整が重要。

最後に

必ず、小学校に引き継いでください。

～全ての子どもの成長を願って～

10

【説明要旨】

・「個別の教育支援計画」と「個別の指導計画」を作成することによって、子どもの実態把握や優先課題を明らかにし、指導・支援の目標設定、てだてや評価等の「観点」で子どもをとらえることが、園での指導・支援を見直す機会になります。

・幼稚園等で作成している「個別の教育支援計画」については、保護者を通じて、小学校、支援学校小学部に引き継いでください。

・個別の教育支援計画は、リレーのバトンと同じで、子どもの成長を、次のステージへつなげるツールです。

・全ての子どもの成長を願って。

個別の教育支援計画に関連した資料

「個別の教育支援計画の参考様式について」（令和3年6月30日 文部科学省）
https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/tokubetu/material/1340250_00005.htm

「令和3年度『ともに学び・育つ』学校づくり支援事業 自立活動ハンドブック（中学校版）」
（令和3年度 大阪府教育庁 教育振興室 支援教育課）
<https://www.pref.osaka.lg.jp/attach/5023/00000000/handbook-chu.pdf>

「令和2年度『ともに学び・育つ』学校づくり支援事業 自立活動ハンドブック（小学校版）」
（令和2年度 大阪府教育庁 教育振興室 支援教育課）
https://www.pref.osaka.lg.jp/attach/5023/00000000/handbook_syo.pdf

「ともに学び ともに育つ 一貫した支援のために支援をつなぐ『個別の教育支援計画』の作成・活用」（平成28年3月 大阪府教育委員会）
<https://www.pref.osaka.lg.jp/attach/5023/00000000/ikkansitiasienn.pdf>

「『ともに学び、ともに育つ』支援教育のさらなる充実のために」
（平成25年3月大阪府教育委員会）
<https://www.pref.osaka.lg.jp/shochugakko/tomonimanabi/index.html>

「インクルーシブ教育システム構築支援データベース」（国立特別支援教育総合研究所）
http://inclusive.nise.go.jp/?page_id=15